

公立保育所再編について

令和8年6月30日に開催した第1回子ども・子育て会議において、公立保育所再編基本計画の策定に向けた検討事項に対する委員のみなさんのご意見を伺いました。

第2回子ども・子育て会議では、これらの意見に対する市の見解や考え方をお示しするとともに、再編基本計画の案を作成しましたのでご意見を頂戴したいと思います。

1. 第1回子ども・子育て会議の概要

○第1回子ども・子育て会議の概要（資料1-2）

○事務局から回答していない項目は次のとおり。

▼「年代別の出生率」のデータを示してほしい。120人の定員設定は今後4年間の短い推計に基づくものであり甘い印象がある。

→資料1-3（1）は国立社会保障・人口問題研究所が令和5年12月に発表した人口推計。

→資料1-3（2）平成8年からの市町村別に千葉県が公表している合計特殊出生率。

▼出生数が100人程度の状況で何億円もかけて保育所を新設する必要があるのか。

→将来的な建て替えや度重なる修繕費を考慮すると、新設の方が中長期的な財政負担（ライフサイクルコスト）は軽減されます。また、「公適債」の活用により市の実質的な負担を抑えつつ、再編を進めていきたいと考えています。なお、施設整備にあたっては、可能な限りコスト縮減を検討します。

▼公共施設再編計画のタイミングに合わせて実施することとし、公立の在り方自体を検討するべきではないか。

→公共施設の再編については、庁舎等公共施設整備基本構想検討委員会で議論が開始されたところですが、当検討委員会は庁舎や図書館といった不特定多数の方が利用する施設の機能の統合を検討しています。保育所は安全面や運営管理上、独立して設置することが望ましいと考えられますので、他の公共施設とは切り離して検討しています。

2. 提出された意見書に対する市の回答・見解

○提出された意見の一覧（資料1-4）

○提出された意見に対する市の見解（資料1-5）

3. 公立保育所再編基本計画（案）

○公立保育所再編基本計画（案）（資料1-6）

4. 今後の流れ

○～8月31日（月） 意見があれば意見書に記入のうえ、子育て支援課へ郵送

○10月14日（水） 第3回子ども・子育て会議

○10月下旬～11月 パブリックコメント

○～3月頃 再編基本計画策定・公表